

## 文部省科學獎勵金受賞研究者の發表

文部省では毎年、幼稚園、小學校、中學校、高等學校の教職員の中、有爲な科學研究者に對して研究のための獎勵金を出しておつたが、この昭和二十五年度における受賞者の發表があつた。そのうち幼稚園關係者は左の通りであつた。

### 一、三歳兒の幼稚園教育について

#### 1 研究者等

研究者 奈良女子大學奈良女子高等師範學校  
附屬幼稚園 教諭 長屋サト  
共同研究者 右 同 教諭 兒玉ちゑ

指導者 右 同 主事 大澤須美子  
小川正道

#### 2 研究の目的

學校教育法においては、三歳をもつて入園命令と定めてゐる。しかるにわが國の現状においては、いまだ三年保育は一般に普及してゐるとはいわれない。したがつてその研究も殆んど見るべきものがないようである。三歳兒教育をここの數年研究的な意味で實施してゐる當園では、次の目的でさらに研

究をすすめる。

(1) 三歳兒の集團生活の可能性並びにそのあり方を究めること

(2) 三歳兒教育のカリキュラム及びガイダンスの方法を明らかにすること

(3) 三歳兒の保育効果を明らかにすること

#### 3 研究の方法

(1) 三歳兒の遊び(遊戯)の形態について、科學的な實態調査をすること

(2) 三年保育修了兒と然らざるもの(同年令者)との身體的、知的、情緒的及び社會的方面の發達についての比較研究をすること

#### 4 既徑の研究狀況

(1) 三歳兒の使用冊について

(2) 三歳兒の知能

#### 5 獎勵金

四千圓

### 二 幼稚園の教育課程

#### 1 研究者等

研究者 廣島大學廣島師範學校附屬幼稚園

共同研究者 右 同 主事 堀川勝人  
教諭 入坂富子  
教諭 高瀬璃々

#### 2 研究の目的

幼稚園の新しい教育課程を保育要領の分析や幼兒の發達の  
上から構成する。

### 3 研究の方法

社會の實態調査並びに幼児の發達調査から單元保育を中心とした生活指導の課程と、系統的な行事を含めた日常の生活指導の課程として作製して、知性、社會性、情緒、身體の健全な發達を計らうとする。

### 4 既往の研究狀況

三原市における社會調査並びに幼児の生活能力調査の研究  
獎勵金 四千圓

### 三 幼稚園並びに小學校低學年における科學教育の研究

1 研究者 東京都北多摩郡 啓明學園初等學校

教諭 栗山 重

### 2 研究の目的

(1) 幼稚園並びに小學校低學年の理科教育特に科學心を培養して彼等が興味をもつて自發的に學習する態度の養成について研究する

(2) 科學教育より見て、幼稚園と小學校と密接に連絡して能率的な教育法を研究する

### 3 研究の方法

(1) 子供を實際に指導しつつ、その發達を調査し、何に子供にそくした指導法を工夫する

(2) 幼稚園並びに小學校の先生方と接する機會多き立場として、なるべく先生方と協力して研究する

(3) 母親と會合する機會多き立場として、母親と協力して研究する

### 4 既往の研究狀況

(1) 小學校一年より理科教育を行なう必要を痛感して、成

蹊學園において一年生から理科を特設實施し、二十餘年連續現在も實際に児童を愛護し研究して、探險資料が豊富である。

(2) 高等保育學校講師として多年教員養成に當り、かつ直接園児の實際保育に當つて研究している。

なおこの研究獎勵金については、幼稚園關係の申請が非常にすくないのは遺憾である。

昭和二十六年度は幼稚園關係者からも數多く申請できるよう今から研究準備をすすめておいてくださるよう希望する次第である。

參考までに昭和二十四年度の幼稚園關係受賞者を附記してみる。

#### 一 幼稚園教育の研究

東京學藝大學附屬幼稚園 主事 中川 武夫

#### 二 就學前後の教育

東京學藝大學東京第三師範學校 池田 芳雄

## 全國々立大學

### 附屬幼稚園主事協議會

去六月二十九日(金)午前九時より午後四時まで、東京大學、お茶の水女子大學において、標題の會合が行はれた。協議會話題の中心は、各大學における幼稚園教員養成の現狀並に希望等であつたが結論として左の要望事項を、文部省大學